



作成日 2009年 4月 23日

改訂日 年 月 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : コモグラス
 製品コード : CG P (透明)
 *共通品番 [430L, 431L, 432L, 452L, 120K, 130K, 144K, 150K, 148K, 125K, 135K, 145K, 155K, 530K, 550K, DFA2 P]

会社名 : 株式会社クラレ
 住所 : 〒100-8115 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル
 〒530-8611 大阪府大阪市北区梅田 1-12-39 新阪急ビル
 担当部門 : 化成品・メディカルカンパニー メタアクリル事業部 商品統括部
 電話番号 : 03-6701-1516 FAX 番号 03-6701-1575
 E-mail : msds_qm-ps@kuraray.co.jp
 緊急連絡先 : 担当部門と同じ
 推奨用途及び : 表面保護シート、電飾看板等
 使用上の制限
 整理番号 : R12-010

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
人健康有害性	急性毒性 (経口、経皮、吸入)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない

生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳期または授乳を通じた影響	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性 水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない
絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
重要な徴候:	なし
国・地域情報	消防法 指定可燃物 (危険物の規則に関する政令 別表第四 合成樹脂類 その他のもの 指定数量 3000kg) 労働安全衛生法 通知対象物 (メタクリル酸メチル)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 単一の化学物質

化学名(IUPAC名称)	2-メチル-2-プロペン酸, 2-メチル-2-プロペン酸メチルエステル, コホリマー	2-メチル-2-プロペン酸メチルエステル
一般名	メチルアクリレート、メチルメタクリレート、コホリマー	メタクリル酸メチル
別名	MAA MMA コホリマー	MMA
化学特性(分子式)	(C ₅ H ₈ O ₂ , C ₄ H ₆ O ₂) _x	C ₅ H ₈ O ₂
CAS番号	9011-87-4	80-62-6
濃度(範囲)	99%以上	1%未満
化審法公示番号	(6)-553	(2)-1036
安衛法公示番号	既存化学物質扱	既存化学物質扱
TSCA	あり	あり
EINECS/ELINCS	ホリマーのため非該当	201-297-1

4. 応急措置

- 吸入した場合 :
- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - ・ 呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
 - ・ 呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
 - ・ 呼吸が弱い場合は人工呼吸を行う。

- 皮膚に付着した場合：
 - ・多量の水及び石鹼で洗い流す。水泡、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
 - ・水で洗浄したのちに衣類が皮膚に張りついている場合は、無理にはがしてはならない。
- 目に入った場合：
 - ・清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
 - ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- 飲み込んだ場合：
 - ・水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医療措置を受ける手配をする。
 - ・被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
- 予想される急性症状及び遅発性症状、最も重要な徴候及び症状
応急措置をする者の保護：
 - ・なし
- 医師に対する特別な注意事項：
 - ・本製品のガスを吸入したものは、安静にさせ、その経過を観察しなければならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤：
 - ・初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
 - ・大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 特有の消火方法：
 - ・消火作業は、風上から行う。
 - ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
 - ・周辺の設備等に散水して冷却する。
 - ・周辺火災の場合に、移動可能な容器は直ちに安全な場所に移す。
 - ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
 - ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 消火を行う者の保護：
 - ・消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。
 - ・燃焼または高温により有毒なガス（一酸化炭素）が生成するので、呼吸保護具を着用する。
 - ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：
 - ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行なう。
- 保護具及び緊急時措置：
 - ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する
 - ・作業の際には保護具（手袋、眼鏡、マスク）着用し、飛沫等が付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。

- ・風上から作業し、風下の人を避難させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

環境に対する注意事項 : ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和、封じ込め及び少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生
浄化の方法・機材 : しない安全な用具を使用する。
・飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
・真空で吸い取るなど粉じんが飛散しない方法で取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

技術的対策

- ・取扱いは、換気のよい場所で行なう。
- ・取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行なうための設備を設置する。
- ・発散した蒸気、粉じんを吸い込まないようにする。
- ・屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
- ・取扱いの都度、容器を密閉する。
- ・眼、皮膚、衣類に付けないこと。
- ・保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。
- ・指定された場所以外では、飲食、喫煙を行なってはならない。
- ・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- ・火気を避ける。過熱したり、摩擦、衝撃を与えない。
- ・静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行なう。
- ・電気機器類は防爆型(安全構造)のものをを用いる。
- ・工具は火花防止型のものをを用いる。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

局所排気・全体排気

- ・作業場の換気を十分行う
- ・取扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱う。

注意事項

- ・みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。

安全取扱い注意事項
(接触回避など)

- ・機器類は防爆構造とし、設備は静電対策を実施する。

保管 :

保管条件(技術的対策、
混触禁止物質等)

- ・直射日光を避け、換気のよい暗所に保管する。
- ・屋内貯蔵を原則とする。
- ・火気、熱源より遠ざける。
- ・施錠して保管すること。
- ・防湿に留意する。

容器包装材料

容器包装材料の制限はないが吸湿、埃付着を避けるため、密閉性の高いものをを用いる。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度	:	
日本産業衛生学会	:	当該製品は、設定されていない。 粉じん (Class 3:OEL 吸入 2mg/m ³ ; 総粉じん 8mg/m ³)
ACGIH	:	設定されていない。
管理濃度	:	設定されていない。
設備対策	:	・取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
保護具		
呼吸器の保護具	:	防じんマスク、簡易防じんマスク、
手の保護具	:	保護手袋、耐熱手袋
目の保護具	:	保護眼鏡 (普通眼鏡型、側版付き普通眼鏡型、ゴーグル型) 保護面 (防災面)
皮膚及び身体の保護具	:	保護服、保護長靴、保護前掛け、静電靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状	:	固体 (シート塊状)
色	:	無色
臭い	:	無臭
pH	:	該当しない
融点・凝固点	:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	280~300 °C ¹⁾
爆発範囲	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度	:	データなし
比重 (相対密度)	:	1.17~1.20 g/cm ³ ²⁾
溶解度	:	
溶媒に対する溶解性	:	水に対する溶解性 不溶 ⁴⁾
溶媒の溶解性	:	アセトン、酢酸エチルに可溶 ⁵⁾
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	450~462°C ¹⁾
分解温度	:	約 220°C ⁵⁾
燃焼性	:	可燃性 (UL94 HB) ³⁾
その他のデータ	:	比熱容量 1.5 J/g°C ³⁾ 屈折率 1.49 ³⁾

10. 安定性及び反応性

安定性	:	一般的な貯蔵、取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	:	特になし
避けるべき条件	:	特になし
混触危険物質	:	特になし
危険有害な分解生成物	:	データなし

1 1. 有害性情報

急性毒性： データなし
皮膚腐食性・刺激性： データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性： データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性： データなし
生殖細胞変異原性： データなし
発がん性： データなし
生殖毒性： データなし
特定標的臓器・全身毒性－単回曝露： データなし
特定標的臓器・全身毒性－反復曝露： データなし
吸引性呼吸器有害性： データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性
魚毒性： データなし
残留性・分解性： データなし
生体蓄積性： データなし
土壌中の移動性： データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物、汚染容器及び包装：

焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号： 非該当
品名（国際輸送名）： 非該当
国連分類： 非該当
容器等級： 非該当
海洋汚染物質： 非該当

安全対策： 容器の破損、漏れがないことを確かめる。
荷くずれ防止を確実に行う。
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。
消防法の危険物第1類及び酸化剤ならびに酸化性の強い物質との混載は避ける。

国内規制： 消防法第九条の四 指定可燃物（危険物の規則に関する政令 別表
第四 合成樹脂類 その他のもの 指定数量 3000kg）
廃掃法第二条第四項第一号 産業廃棄物（施行令第二条十三 廃ブ
ラスチック類）

緊急時対応措置指 該当なし

針番号；

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 PRTR 対象物質は1%未満である

労働安全衛生法 通知対象物(政令別表第9)

メタクリル酸メチル (政令番号 557, 1%未満)

毒物及び劇物取締法：該当しない

高圧ガス保安法：該当しない

消防法

第9条の四 指定可燃物（危険物の規則に関する政令 別表第四 合成樹脂類 その
他のもの 指定数量 3000kg）

危険物データベース登録 不明

化審法：特定化学物質、監視化学物質に該当しない

船舶安全法：該当しない

航空法：該当しない

海洋汚染防止法：該当しない

大気汚染防止法、水質汚濁防止法、悪臭防止法、化学兵器禁止法、薬事法：該当しない

16. その他の情報

引用文献

- 1) 須藤 プラスチックス, 1999, 44(9), 18.
- 2) Modern Plastics Encyclopedia 1998, B152~210.
- 3) プラスチックデータブック, 旭化成アミダス(株)、「プラスチック」編集部 (1999)
- 4) クラレ社内データ
- 5) 浅見：プラスチック材料講座12 アクリル樹脂 (1970)

- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としています。
- ・本製品はこの製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や当社所有の知見によるものですが、これらのデータや評価はいかなる保証をするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。